

1. 評価結果概要表

作成日 2008年12月5日

【評価実施概要】

事業所番号	1270200932
法人名	特定非営利活動法人縁会
事業所名	グループホームゆかりの里
所在地	〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町380-6 (電話) 043-258-3100

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉県千葉市中央区千葉港4-4 千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成20年12月1日	評価確定日	1月30日

【情報提供票より】(20年11月16日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 8月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	5人, 非常勤 4人, 常勤換算 6.8人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り 1階建ての1階部分
------	----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	水道光熱費20,000円 + 実費
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	280円	昼食 380円
	夕食	380円	おやつ 160円
	1日当たり1,200円		

(4) 利用者の概要(11月16日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	2名		
要介護3	2名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 79歳	最低	66歳	86歳	

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	幸有会記念病院 旭ヶ丘第一歯科クリニック
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

こてはし高校のテニスコート裏手、ふるさと農園に隣接した緑豊かで静かな環境の中に、このホームはある。ホーム長は千葉県グループホーム連絡協議会の設立に加わり、千葉県のグループホーム連絡協議会の世話役でもある。1ユニット9名の入居者と職員は、コーラス隊を結成して近隣の学校や介護施設に出向き、歌で広がる地域との交流を続けている。入居者はそろいの衣装で合唱を楽しそうに練習している。職員はギター、ボランティアは琴、ハーモニカ、ピアノなどの伴奏でコーラス隊を支援している。他の介護保険関連事業として、平成19年11月1日にデイサービスセンターを開設したほか、空き室利用のショートステイも可能である。包括的なサービス体制を築いており、地域住民から厚い信頼が寄せられている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で、重度化や終末期に向けた方針の共有が指摘されたが、昨年終末期ケアを行った入居者がおり、ホーム長、看護師、職員、医師、家族の度重なる打ち合わせと連携により、初めて貴重な経験をすることができた。目標設定し、目標達成の原動力となったチームケアなど、学んだことを関係者全員で共有し、今後に向けた取り組みの第一歩とした。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員参加のもと、3回の会議を開いて意見の集約を行いホーム長が纏め上げた。取り組みを通じてホーム長と職員の意見交換が活発に行われ、相互に理解を深める事ができた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	ホーム長は、民生委員、学校長、ふるさと農園長、自治会、家族など、多くの方々に運営推進会議に出席を依頼し貴重な意見交換をしている。中でも隣接のこてはし高校の運動場を災害時の避難場所として使う場合、フェンスを開けることが出来ないか、鍵の問題が真剣に検討された。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	苦情を受けた職員は、第一次対応後苦情シートに記入しホーム長に連絡している。最近、お金に関して家族から指摘された事例があり、毎月報告する事とした。今後家族への連絡・確認の再検討を行うことが必要と思われる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	居室から窓越しにテニスをしている高校生や散歩をしている近所の人の姿が見え隠れする。入居者は散歩や買物など外出の際は、近隣住民と挨拶を交わしたり、珍しいもののお裾分けを頂いたり、近所の人たちが立ち寄って話して行くなど、どこにでもある近所付き合いをしている。また、ホームは車椅子の使い方を教えたり、介護者教室を開いて、地域貢献に専門性を発揮している。入居者は地域の行事や清掃活動に参加して交流を深めている。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念とホームのスローガンが人目につく場所に掲示されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者との対応や家族との連携で、機会あるごとに理念に立ち返るよう前向きに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者と職員による ゆかりの里コーラス隊が作られ、地域の行事や学校の寮祭、介護施設などに出向き歌で広がる付き合いを行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム長と職員は評価を実施する意義を十分理解してサービスの質の向上に取り組んでいる。外部評価の指摘から生まれた『ゆかりの里コーラス隊』は、ホーム内の活気を生み、地域との交流の糸口になっている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホーム長は3ヶ月に1度、運営推進会議が開催できるよう、各方面に精力的に働きかけて実施している。会議では民生委員からボランティアの紹介を受けたり、学校や消防署との話し合いで出た、災害時の避難場所に学校のグラウンドを使う場合のフェンスの鍵の問題などが討議された。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当窓口には、各種届出や報告事項で出向いたり、相談員や地域包括支援センターから貴重な意見や助言を受け協働出来る体制作りを行っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者一人ひとりの生活状況は、毎月または3ヶ月に一度居室担当者から家族へホーム便り「ゆかりの里」と共に届けられている。公報のやまびこ号は年2回の発行である。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	居室担当者が対応した家族意見の内容は、苦情シートに記録してホーム長に提出されている。最近では金銭に関する苦情があった。	○	苦情報告等はしっかり記録されている。今回の件に関しては、金銭管理の方法についてホーム内で再検討し、家族にわかりやすく明示することが望まれる。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	隣接してデイサービスが開設した時に、ホームより2名の職員が異動したが、その後も行き来があるため、入居者への影響は特に無かった。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の職員会議で、自主的に勉強会を持ったり、年1回、職員の目標をアンケート方式で募り、実現に向けた支援をしている。各種外部研修の情報は、職員の目に付く場所に掲示されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホーム長が千葉市グループホーム連絡協議会の世話人であり、近隣同業者との情報交換や相互訪問など積極的な取り組みがなされている。今後は、現場職員も交流できるような勤務シフトが生まれ、相互訪問が実現できると更に良いと思われる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居に当たっては、面談や訪問など共に家族とホームで過ごす時間をできるだけ長くしたりするなど工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者の得意な事、うれしいことなどを良く把握している。隣のデイサービスに品物を届けるのがうれしい人にはその場面を提供するなど、細やかに個々に合った暮らし方を支援している。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員全員が日々のケアやミーティングで情報を共有し、一人ひとりの思いや希望を十分に汲み取っている、入居者が多少間違っている場合でも否定をしないで受容しながら、居心地良く過ごせるよう本人本位の意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当者がアセスメントをし、入居者、家族の意見、要望を把握して生活援助計画に記入している。全職員参加の担当者会議で検討し、家族に了解を得て支援を行っている。三年前からセンター方式のアセスメントシートを取り入れて、よりきめ細かく分析してその人らしい暮らしが出来るよう努めている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度見直しを行っているが、変化が生じた場合はその都度職員全員で検討し、家族の意向も含め現状に即した計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入院時に入居者が不穏にならないよう家族と協力し合って食事介助、洗濯物の入れ替え等の支援をして安心してもらえた。併設しているデイサービスからの依頼による宿泊ステイはデイサービスの職員1人配置している。また空所型ショートステイの認可は受けているが実績はまだ無い。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	遠方のかかりつけ医への受診は家族にお願いしているが、協力病院への受診は職員が支援している。協力病院の院長はケアマネジャーの資格を持ち、協力的で、親身に対応してもらっている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	前回の改善課題でもあったが、昨年終末期ケアを行った入居者があり、家族、併設のデイサービスの看護師、全職員と話し合いを重ねて、ターミナルケアのマニュアルを作成した。往診可能な病院を捜して取り組み、家族からも感謝された。今後も尚、他職種、家族の協力を得て取り組んでいく予定である。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけや態度が失礼にならないよう心配りをしている。入居者の態度や様子から対応不備が見受けられた時等は、職員会議の中で取り上げて何度も話し合い、接遇の向上を図っている。記録等個人情報書類は事務所に保管している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりが活気があって生き生きしており、皆が大好きな散歩は毎日出掛けている。特別な外出がない日は、体調の優れない人は居室で横になったり、居間で職員のギターに合わせて楽しそうに歌ったり、会話や手芸を楽しんだりして思い思いに過ごしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、入居者一人ひとりの状態に合わせ、買い物、食事の準備、後片づけを共に行っている。日常生活動作の低下や好き嫌いが多く人にはさりげなく、それぞれに合った支援をしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ホームでの入浴は1週間に3回だが、その他に併設のデイサービスでの入浴もある。浴室がゆったりしたスペースで夏場の入浴、シャワー浴の頻度は多い。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者は花の手入れ、種蒔き、野菜の収穫、編み物などの楽しみ事を行っている。着物の好きな人達で互いに着付けを楽しんだこともある。入居者全員歌が好きで、コーラス隊として行事に参加する時、衣装を揃えてお化粧をすると皆華やいで生き活きとしてくる。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は毎日全員で出掛ける。買い物、図書館、特にペットショップでの動物とのふれあいは人気である。またコーラス隊として交流訪問の外出もある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者からの何がしかのサインを見逃さないよう、日中は施錠せず見守りをしながら自由な暮らしを支援している。搜索訓練を年2回行っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災、消火、通報、夜間対応訓練は行っている。『やまびこ推進会議』のメンバーであった、こてはし高校の前校長に働きかけ、避難場所として校庭が使用出来るよう話が進んだが、校長が異動となり再度やまびこ推進会議で話し合いを行った。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	朝食、夕食は、カロリー計算された食材を外注している。昼食は栄養指導を受けている職員のアドバイスを元に、ホームで自由メニューにして食材を入居者と共に買いに行っている。制限が必要な人には食事、水分量を把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は間口が広くて明るい。リビングは中庭からの採光もよく、ログハウス風でゆったりとした木のぬくもりがある。座り心地の良いソファが程よく配置され、入居者が寛げるように居心地の良い空間になっている。また、廊下には入居者による四季折々の作品が飾られている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は全室エアコンが設置されていて空調管理も適切に行われている。居室は東南に面しているので明るく、馴染みの物や家族の写真、趣味の作品などが飾っており、居心地良く過ごせるよう工夫がされている。時には普段手が回りにくい換気口や、高い所の掃除もこまめに行うとさらに良いと思われる。		